

12月のシネマリレー

特別料金 一般 /1,500円



ギルバート・グレイブ
[1993/アメリカ/1時間58分] 監督:ラッセ・ハルストレム
出演:ジョニー・デップ/レオナルド・ディカプリオ
アイオワ州の小さな町、過食症の母と知的障害を持つ弟の世話に明け暮れる青年ギルバート。ある日、トレーラーで旅する自由な少女と出会い、自分の人生を見つめ直す姿を描いたヒューマンドラマ。



ギレルモ・デルトロのピノッキオ (字幕版)
[2022/アメリカ/1時間57分]
監督:ギレルモ・デルトロ 声の出演:ユアン・マクレガー
アカデミー賞®受賞監督ギレルモ・デルトロと、数々の賞を受賞したストップモーションアニメの巨匠マーク・グスタフソンが、名作童話を蘇らせる。木でできた不思議な人形ピノッキオが世界をつなぐ魔法の冒険物語。

日活110周年記念特集上映

12/31 - 1/6

幕末太陽傳 [1957/日本/1時間50分]
監督:川島雄三 出演:フランキー堺 / 左幸子
日本映画史上の名作の一本! 佐平次は遊郭で呑めや歌えの大騒ぎを繰り広げるが、一銭も持ち合わせておらず働き始めることに。持ち前の機転で女郎や密たちのトラブルを次々と解決し人気者となるのだが…。

12/31 - 1/13 上映 丹下左膳余話 百万両の壺 デジタル復元・最長版

12/31 - 1/6 (日替わり上映)

アニメーションの神様、その美しき世界 vol.2&3

川本喜八郎、岡本忠成 監督特集上映

川本喜八郎5作品 [1時間20分]
・花折り [1968年]
・鬼 [1972年]
・詩人の生涯 [1974年]
・道成寺 [1976年]
・火宅 [1979年]

岡本忠成5作品 [1時間18分]
・チコタン ぼくのおよめさん [1971年]
・サクラより愛をのせて [1976年]
・虹に向って [1977年]
・注文の多い料理店 [1991年]
・おこんじようり [1982年]

多彩な技法を駆使してアニメーションの可能性を開拓し続けた名匠

日本の伝統芸能を進化させた世界の巨匠

12/8 (先行上映) 12/10 - 12/16

ジョン・レノン 音楽で世界を変えた男の真実
[2018/イギリス/1時間33分] 監督:ロジャー・アブルトン
ジョン・レノンの生い立ちと、彼の人格、後に彼の音楽に影響を与えた出来事と、未公開の歴史的映像・資料や友人、関係者へのインタビューを交えながら深く掘り下げていく、ファン感涙の貴重なドキュメンタリー。

ミニートク 12/8 (木) 19:00 「ジョン・レノン」上映後
ゲスト/ 宮永正隆さん(音楽評論家・ビートルズ大学学長)
料金 / 鑑賞料 +500円



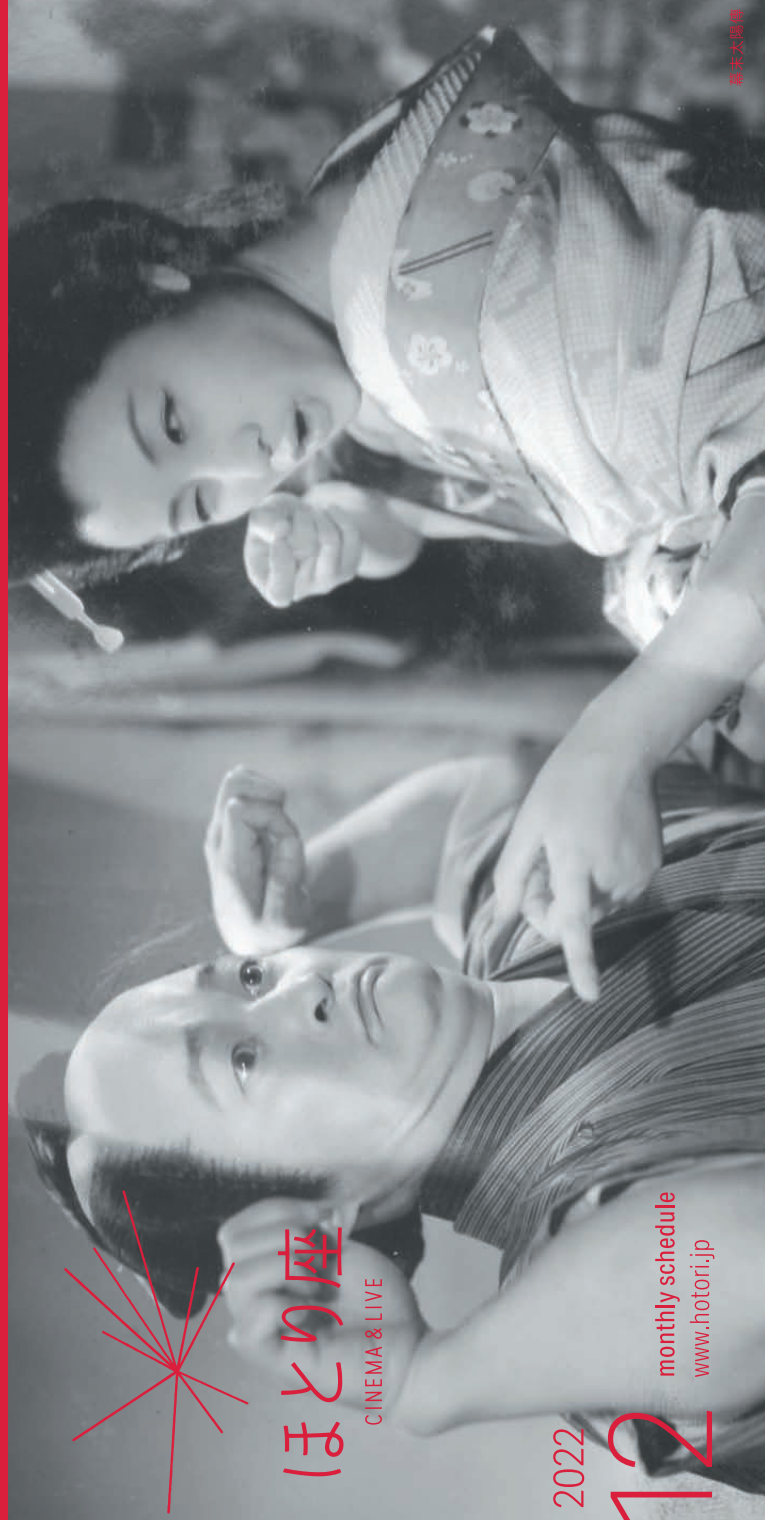
キンキーブーツ
[2018/イギリス/2時間2分]
監督:ブレット・サリバン 出演:マット・ヘンリー
昨年全国で満員御礼の映画館が続出し旋風を巻き起こした『キンキーブーツ』。実話を元にした同名映画を、ハーベイ・ファイアスタインの脚本とシンディ・ローパーの作詞・作曲でブロードウェイで上演されたミュージカル。

20 (火)	21 (水)	22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	1/1 (日・祝)	2 (月・祝)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)
CHAIN チェイン 10:00				キンキーブーツ 10:00				ギレルモ・デルトロのピノッキオ 10:00				幕末太陽傳 10:00				CHAIN チェイン 10:00	
やまぶき 12:20				ギレルモ・デルトロのピノッキオ 12:30				キンキーブーツ 12:30				アニメーションの神様 12:20 川本 岡本 川本 岡本				アニメーションの神様 12:20 岡本 川本	
密使 14:30				ギレルモ・デルトロのピノッキオ 14:50				やまぶき 15:00				アニメーションの神様 14:10 岡本 川本				金の糸 14:10	
WILD STYLE 17:10				密使 18:30				新しき民 18:00				ひかりのおと 18:00				ホワイ・ノイズ 16:00	
バルド 19:30				WILD STYLE 20:00				やまぶき 20:20				バルド、飾りの記録と一握りの真実 19:30				金の糸 19:00	

12/1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)	12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)
さよなら、ベルリン 10:00	ゴダール 10:00 勝手に	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00	チセ・アカラ 10:00
カウラのカタエのワリカ 13:30	ゴダール 13:30 勝手に	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30	チセ・アカラ 13:30
ミュージン (吹替) 16:30	ゴダール 16:30 勝手に	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30	チセ・アカラ 16:30
アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30	アザー・ミュージック 19:30

映画の日 1,000円

※0:30〜オープン ※開場は開映10分前です。★イベント ■サービスデー



12月
2022

monthly schedule
www.hotori.jp

最新作公開記念 山崎樹一郎 監督特集

岡山県真庭市の山間で農業に携わりながら、地方に生きる人々に光をあて映画製作を続ける山崎樹一郎監督。

舞台挨拶

12/18 (日) 12:20 『やまぶき』上映後・15:10 『ひかりのおと』上映前
ゲスト / 山崎樹一郎 監督

12/17 - 12/30



やまぶき

[2022 / 日本・フランス / 1時間37分]
監督: 山崎樹一郎 出演: カン・ユンス / 袴キララ / 川瀬陽太 / 和田光沙
韓国乗馬競技のホープだったが、今はヴェトナム人労働者と採石場で働くチャンスと、交差点でひとりサイレントスタンディングを始める女子高生・山吹。二人とその周囲の人々の運命が静かに交錯し始める。

タイトルを役名とする袴キララの立ち姿、その花のような可憐かつ無骨な存在感がひとときわ胸に迫った。どうにも解きほぐせない現実を前にして、できることは極めて少ない。行動や言葉の実効性には大きな疑問符がつく。その極めてわずかな、現実を変えるには明らかに不足な何かを、人はそれでも尚すべきだろうか。答えはない。が、『やまぶき』は問いそのものを生きた。しんどい映画だ。それを見た者は当然、解決しがたい問いを植え付けられる。でも、その問いだけが安易な答えから人を守るだろう。今だからこそ、この映画が存在することの意義は限りなく大きい。問いを抱え続ける山崎樹一郎の歩みは力強く、本人にそんな気はなくても同じ時代に生きる者を勇気づけている。

濱口竜介 (映画監督)

12/18・25・29



ひかりのおと

[2011 / 日本 / 1時間29分]
監督: 山崎樹一郎 出演: 藤久善友
岡山県の山あいで酪農を営む狩谷家の長男・雄介は、音楽を志し東京で暮らしていたが、父の怪我で故郷へ戻ることになった。捨てられない夢や酪農の厳しい現状、恋人との行き違いから、迷いを感じる雄介だったが…。

中国で初めて出会った山崎樹一郎は自らの映画を作り上げる基盤を「見えない予算」と呼んでみせた。『ひかりのおと』を映画美学や演技の側面から語れば、そこには毀誉褒貶あるだろう。ただ、重要なことはたった一つで、10年後には山崎樹一郎は必ず、日本映画にとって極めて特異かつ重要な映画作家になるということだ。『ひかりのおと』を見ること自体は、今でも、10年後でも別に構わないと思うし、もしかしたら10年後の方がもっとこの映画のことがわかるかも知れない。ただ、『ひかりのおと』を見れることは、10年後にできる極めて重要な映画の「見えない予算」となることに、確かに通じている。その機会は、逃さないのがよい。

濱口竜介 (映画監督)

12/19・24・30



新時代劇特集

12/17 - 12/23



CHAIN チェイン

[2021 / 日本 / 1時間53分]
監督: 福岡芳穂
出演: 上川周作 / 佐々木詩音 / 鈴木卓爾 / 和田光沙 / 浅川満彦
京都芸術大学映画学科の学生とプロの映画スタッフ、キャストが劇場公開映画を製作するプロジェクト「北白川派」。新選組終焉の象徴とも言われる油小路の変を背景に、激動の時代を生きた無名の人々の生き様を描く群像劇。

12/4・14

第4回

映像でめぐる —自然と人びと、暮らしの記録—

特別料金 大人 / 1,000円 20歳以下 / 500円

チセ アカラ—われらいえをつくる

[1974 / 民族文化映像研究所 / 57分]



11/26 - 12/9



アザー・ミュージック

[2019 / アメリカ / 1時間25分]
監督: ブロマ・バス / ロブ・ハッチ=ミラー
2016年に閉店したニューヨークの伝説的レコード店「アザー・ミュージック」。国籍も職業も趣味性も越えた、音楽を愛する人々のためのコミュニティでもあった。創業から閉店までの21年間の歴史をたどるドキュメンタリー。

12/10 - 12/16



裸足で鳴らしてみせろ

[2021 / 日本 / 2時間8分] 監督: 工藤梨穂
出演: 佐々木詩音 / 諏訪珠理 / 風吹ジュン
偶然出会った直己と慎は、目の不自由な模の養母の願いをかなえるため、レコーダーを手に“世界の音”を記録することに。惹かれ合うも抱きしめることができない二人は、互いへ触れるための格闘に自分たちだけの愛を見出していくが…。

12/17・20・23



密使と番人

[2017 / 日本 / 1時間]
監督: 三宅唱 出演: 森岡龍 / 浅川満彦 / 石橋静河
三宅唱が描く、誰も見たことのない時代劇の世界。開国を望む蘭学者の一派が、幕府管理下にある日本地図の写しを密かに完成させる。道庵はオランダ人にその写しを届ける密使として旅立つが、山の番人たちが山狩りを始めていた。

© 時代劇専門チャンネル・日本映画専門チャンネル

12/3 - 12/9



激怒

[2022 / 日本 / 1時間40分]
監督: 高橋ヨシキ 出演: 川瀬陽太
激怒すると見境なく暴力を振るってしまう刑事・深間。度重なる不祥事により海外の治療施設へと送られる。数年後、日本に呼び戻された彼は、街の雰囲気が一変していることに気づき、忘れていた怒りの炎がゆらめき始める…。

R15+

12/10 - 12/23



Wild Style

[1982 / アメリカ / 1時間22分]
監督: チャーリー・エーハン 出演: リー・キノネス
1982年ニューヨーク、サウス・ブロンクスで、グラフィティアーティストの生きざまを描いたドキュメンタリードラマ。DJ、ラップ、ブレイキンなど、それまで世の中に存在しなかった新しいサブカルチャーを世に知らしめた作品。

12/17 - 12/30



バルド、偽りの記録と一握りの真実

[2022 / メキシコ / 2時間40分]
監督: アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ 出演: ダニエル・ヒメネス・カチョ
著名なジャーナリスト兼ドキュメンタリー映画製作者のシルヴェリオは、国際的な賞の受賞が決まったことで母国メキシコへ帰ることに。この何でもない旅行で、生きる意味すら見失うことになるとは知らずに…。

ほとり座
CINEMA & LIVE

富山市総曲輪3丁目3番16号ウィズビル4階
tel / 076-422-0821 mail / info@hotori.jp



12/3 - 12/9 (日替わり上映)

特別料金 一般 / 1,500円

ジャン＝リュック・ゴダール 追悼上映



勝手にしやがれ 4Kレストア決定版

[1960 / フランス / 1時間30分]
出演: ジャン＝ポール・ベルモンド / ジーン・セバーグ
全世代の映画人に圧倒的な影響を及ぼし続けるヌーヴェル・ヴァーグ不滅の金字塔!



気狂いピエロ 2Kレストア版

[1965 / フランス / 1時間50分]
出演: ジャン＝ポール・ベルモンド / アンナ・カリナ
ゴダール、アンナ・カリナ、ベルモンド。各自がキャリアの臨界点で燃焼しつづいた奇跡的傑作!



女は女である

[1961 / フランス・イタリア / 1時間24分]
出演: アンナ・カリナ / ジャン＝ポール・ベルモンド
登場人物が歌わないミュージカル・コメディ! ゴダールの長編第3作。



女と男のいる舗道 4Kデジタル・リマスター版

[1962 / フランス / 1時間24分]
出演: アンナ・カリナ
『裁かろ、ジャンヌ』を観て涙するシーンはもはや伝説的。長編第4作。



パリとところどころ [1965 / フランス / 1時間37分]

ヌーヴェル・ヴァーグを代表する6人の監督によるオムニバス映画。

- 第1話『サン・ジェルマン＝デ＝ブレ』監督: ジャン・ドゥーシェ
- 第2話『北駅』監督: ジャン・ルーシュ
- 第3話『サン・ドニ街』監督: ジャン＝ダニエル・ボレ
- 第4話『エトワール広場』監督: エリック・ロメール
- 第5話『モンパルナスとルヴァロワ』監督: ジャン＝リュック・ゴダール
- 第6話『ラ・ミュエット』監督: クロード・ジャブロー

12/31 - 1/13



ホワイト・ノイズ

[2022 / アメリカ / 2時間16分]
監督: ノア・バームバック 出演: アダム・ドライバー / グレタ・ガーウィグ
作家ドン・デリーロの同名小説が原作。化学物質の流出事故に見舞われ、死を恐れ錯乱してしまった大学教授が、命を守るため家族とともに逃走する姿を描く、叙情的で不条理な物語。

12/31 - 1/6



金の糸

[2019 / ジョージア・フランス / 1時間31分]
監督: ラナ・ゴゴベリゼ 出演: ナナ・ジョルジャゼ
ジョージアの伝説的女性監督ラナ・ゴゴベリゼが91歳にして、日本の“金継ぎ”に着想を得て描いた過去との和解の物語。女性作家エレネとその人生に関わった人々の過去、そしてソヴィエト連邦下の記憶が重ね合わされていく。

新しき民

[2014 / 日本 / 1時間57分]
監督: 山崎樹一郎 出演: 中垣直久 / 川瀬陽太
山中一揆を題材とした時代劇。治兵衛は妻と静かに暮らしていたが、蜂起に参加するよう促され渋々従う。藩は要求を受け入れ事態は治まったかに見えたが、武力衝突へと拡大し、治兵衛は全てを捨て村から逃げることを選ぶ。